

伊達市議会へ要望活動を実施

平成27年9月に発生した台風18号による豪雨災害で、玉野公民館西側の伊達市道が崩落し、復旧まで長期間の通行止めが続きました。

この事態を受けて、平成27年11月13日に玉野地区の行政区長より、玉野小・中学校前から国道115

号に直接抜ける新たな市道整備の要望書が相馬市議会議長に提出され、平成27年12月21日に伊達市

議会に対して、協力要請の要望を行いました。

平成30年3月2日には、新たに玉野地区区長会から相馬市議会議長に対して、「東玉野霊山線の道

路整備に関する要望書」が提出されました。

これらを受け、平成30年3月27日、米山議長と石橋副議長は、伊達市議会議長と伊達市長に対して、協力要請の要望を行いました。

主要要望内容については、左記のとおりです。

主要要望内容

一、市道「東玉野霊山線」の整備に当たり、一部の区間が貴市内を通過することから、地域住民や立地企業の要望を鑑み、特段のご理解とご協力をいただきたいこと。

一、両市の議会と執行部が連携を密にし、実現に向けた情報交換や協力を行っていくこと。



安藤議長（写真中央左）へ要望書を手渡す
米山議長（写真中央右）

基幹交通網の早期復旧と整備促進に関する特別委員会 相馬福島道路の進捗状況を視察

基幹交通網の早期復旧と整備促進に関する特別委員会（波多野広文委員長）は4月16日、相馬福島道路（相馬西道路）の整備について、進捗状況を視察しました。

相馬福島道路は東日本大震災からの早期復興を推進する「復興支援道

路」として事業が進められており、南東北太平洋沿岸地域の産業、文化、医療など多方面での効果が期待されています。相馬福島道路は平成31年度中には常磐自動車道相馬ICから霊山ICまでが開通予定です。

委員会では、常磐自動

車の4車線化の状況やJR常磐線の不通区間の復旧状況などについて調査を行いました。また、基幹交通網の早期復旧と整備促進に向けて、国、JR東日本、NEXCO東

日本に要望活動を実施することを決定しました。



相馬市バスターミナルから相馬IC付近の
工事進捗状況について説明を受ける委員ら



常磐自動車道を横断する今田高架橋
奥に見えるのは今年2月に貫通した塩手山トンネル